

校訓	真善美	令和5年度 学校通信 「荒中だより」 4月 卯月 第2号	発行日	令和5年4月12日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 感謝する心、確かな学力、健やかな心身育てる		発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

昨日は、第44回 入学式 が挙行され、204名の新入生を迎えました。
【新入生誓いの言葉】

太陽の光がみちあふれ、命が生き生きと輝き出す春のこの良き日、僕達は荒牧中学校に入学しました。今、この瞬間から始まった中学校生活には、新しいことがたくさん待っています。僕は、その新しいことが楽しみでなりません。

まず、楽しみなことはいろいろな行事です。林間学校や体育大会、学習発表会など、小学校になかったことや、小学校より本格的に行われる行事があります。新しく出会った仲間とすぐに仲良くなれるかという少しの不安もありますが、自分から積極的に話しかけていきたいです。そして、仲間と協力しながら頑張って行事に取り組んでいきたいと思えます。次に楽しみなことは勉強です。いろいろな教科があり、高度な内容や難しい問題も出てくると思いますが、どんどん新しい学習に挑戦していくという楽しみがあります。僕が一番好きな科目は体育で、小学校でやったことがないスポーツができると聞いてとても楽しみにしています。ほかの科目も、小学校で知らなかったいろいろなことが学べると思うとワクワクしています。ただ、小学校とは違う大きなテストで、しっかり点数を取れるか少し心配です。でも、勉強も、自分から積極的に取り組んで、そんな不安をふっとばしていきたいです。僕達は、中学校生活で出会う新しいことにどんどんチャレンジしていきたいと思っています。その分、たくさん失敗もすると思います。先生方、先輩方、どうかそんな僕たちを、ご指導よろしくお願いします。

僕達、新一年生は、勉強もほかのことにもどんどん挑戦する、“文武両道“の中学校生活を目指して頑張っていきます。

令和5年4月11日

新入生代表 前里 勇太

【在校生歓迎の言葉】

暖かな春の日差しが、気持ちよい季節となりました。新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんは今、中学校という新しい世界に一步を踏み出しました。これから中学校生活を送る中で、小学校とは大きく変わるところがたくさんあります。

まず学校生活の中で、授業はとても大切なものです。小学校とは違い、教科によって教えてくださる先生が違います。最初は戸惑うかもしれませんが、たくさんの先生と関わるチャンスがあると考えることもできます。また、部活動は色々な種類があり、どれも一生懸命活動しています。自分にあった部活を選び、先輩や顧問の先生と共に、有意義な毎日を送ってください。

皆さんが入学したこの荒牧中学校には、素晴らしい伝統があります。一つ目は気持ちのこもった挨拶です。日常生活の中で挨拶をすることはとても大切です。互いに声を掛け合うことで、楽しくなったり安心できたりします。みなさんも、先輩を手本にして、気持ちのこもった大きな声で挨拶をしてみてください。

二つ目は活気ある行事です。クラスが団結するのはもちろん、学年の枠を越えて、仲間の輪を広げることができます。先輩と後輩のメッセージの交換などもあり、体育大会や学習発表会などの行事を、互いに盛り上げ協力します。

このように、中学校生活には楽しいこともたくさんあります。いよいよ始まるみなさんの中学校生活。初めは、不安な事もあるかもしれませんが、先生方や、先輩である私たちがしっかりサポートします。この3年間でたくさんの事を学び、経験し、友情を育んでください。そして、荒牧中学

校の校訓「真・善・美」のもと、有意義に学校生活を送り、

私たちと共に、たくさんの思い出を作っていきましょう。

令和5年4月11日

在校生代表 八若 ころろ

【PTAより入学お祝いのタペストリーをいただきました】

荒牧カラー、スカイブルーの扉の向こうには、わくわくドキドキ期待に満ちた中学校生活をデザインされています。

「子どもたちのために、なにができるか?！」を考えて、いつも応援してくださっている心強い存在です。こどもの笑顔のために、活動いただいていることに心より感謝申し上げます。新年度もよろしくお願ひいたします。

